

# 新刊紹介

図書館に置いてある最新本の中から  
おすすめのものをピックアップ。  
バラエティーに富んだ  
新刊を紹介します。

## 町立指江図書館 / 電話 0996-88-6500



### 幽霊の径

赤川 次郎 著

16歳の女子高校生が夕暮れどき、白いドレスの女性とすれ違ったことから物語ははじまります。次の展開が気になり、あっという間に読める一冊です。

## 町立鷹巣図書館 / 電話 0996-86-1111

### がんのひみつ

中川 恵一 著



まず本のサイズに驚き！！です。国民の2人に1人が「がん」になる時代。「がんについての勉強」として読んでおくのもいいかも・・・。

# 長島文芸

## 明神俳句会

つるもどき牛の鼻輪を父が擦る  
風鳥ぬす 蔓梅擬実を弾く  
新米や中指で視る水加減  
彼岸花一直線に畦はしる  
旅先のロビー飾りてつるもどき  
もてなしの新米いたたく旅の宿  
台風の来つつ句会の一夜かな

二階堂妙子  
淵脇 護  
筑前 初市  
山寄加代子  
関 佳代美  
大堂 早苗  
迫口 君代

## 長島短歌会

車椅子乗る人押す人共に老ひ病院のロビー我が前  
を過ぐ  
降り止みし雨の滴る萩の花連なり咲ける野路を我  
が行く  
榎平 頼子  
米尾 和子

薄墨の雲も流れて中秋の月は遍く下界を照らす

中山タマエ

サルビアに白き蝶来て戯るるやわらかき陽の秋の  
昼下がり

浜田美代子

川の辺に膨らみ厚き百日紅しらしら揺るる明日は  
姪の忌

浜畑 松枝

霞たちお富士見えざるを惜しみつつ三保の松原な  
ほ去り難し

林 ヒロ

与論にて拾ひし実より伸びにける蘇鉄は私の胸丈  
を超ゆ

本田 幸子

我が家の庭先明るく咲きほこる糸瓜の黄は炎暑  
に耐へて

町田キクエ

ようやくくに台風去りて安堵せり夜半の雨音聞きつ  
つ眠る

松元 睦子

秋風のそよぎ始めし山頂に安らぎまさむ師と亡友  
の歌碑

吉田 映子

老の手の荒れるもいとほし夜の更けにマニキュア  
塗りて和みつつある

岩下 ち江

窓開き匂ふ海の気を深呼吸桜島向く朝の病舎に

岩下 房代

## 一般の方の作品

### 俳句

花蕎麥を眺めそば食む夫婦旅  
歩行いけば萩野の丘や海あおし

川添 行秋  
笹元 政美

### 短歌

十月は仕事一緒で追いつかぬなさねばならぬ我が  
事なりや

町田 末則

納ぜんの蔓に見事な虹色の花房しだれ我眺めおり

中仮屋辰子